

平成 28 年度 第 1 回高知市総合教育会議 議事録 (要約版)

- 1 日 時 平成28年11月10日(木)
開会：午後 4 時00分 閉会：午後 5 時05分
- 2 開催場所 たかじょう庁舎 6 階人事課会議室
- 3 出席者
 - (構成員) 高知市長 岡崎 誠也
高知市教育委員会 教育長 横田 寿生
委 員 西森 やよい
委 員 野並 誠二
委 員 森田 美佐
 - (市長事務局)
高知市副市長 吉岡 章
高知市副市長 井上 哲郎
 - (教育委員会事務局)
教育次長 土居 英一
教育次長 橋本 和明
ほか関係所課
 - (事務局) 総務部長 山本 正篤
総務部副部長 谷脇 禎哉
総務部総合政策課長 西成 英丈
総務部総合政策課長補佐 村田 憲司
総務部総合政策課文化振興担当係長 岡宗 裕美
- 4 議 題 高知市教育振興基本計画【改訂版】(案)についての報告
- 5 議事の経過
 - 開会
 - 市長挨拶
 - 出席者紹介
(構成員のみ) 市長・教育長・教育委員会委員

- 高知市教育振興基本計画【改訂版】(案)についての報告
教育委員会事務局・教育政策課から資料に沿って説明
(以下「基本計画」という。)

- 質疑応答

- <全体的なことについて>

- (岡崎市長)

- 一般の方には理解されにくい単語・表現については、用語解説が必要。例えば、「インクルーシブ教育」、「アクティブ・ラーニング」、「チーム学校」、「コミュニティ・スクール」、「小1プロブレム」など。用語解説のページを後ろに別に作ると、その都度そのページを開かなくてはならないので分かりにくい。* (アスタリスク) を付けて、同じページ内に説明を。

- <基本方針2：防災教育の充実について>

- (岡崎市長)

- 南海トラフ地震の発生は、例えば、登下校の通学途中、学校の中にいる時など、いわゆる学校の管理下にある場合だけとは限らないので、細かく入れる必要はないが、その点を表現することも必要では。

- ⇒ (教育政策課)

- 各学校では、地震・津波対策のマニュアルを策定しており、その中で、登下校中、授業中、校外学習中など、場面ごとの状況を想定した避難に関する項目を設け、避難訓練等を実施しています。「防災マニュアルの充実を図る」という文言を盛り込むことを検討いたします。

- (横田教育長)

- 学校外で地震に遭遇した時の対応について、学校防災マニュアルでの取扱いを確認し、基本計画への反映を検討してもらいたい。

- (岡崎市長)

- 「心肺蘇生法技能講習」は、小中学校の間に2回、基本的に子どもたち全員に経験させるなどのように、防災の部分は、命のかかった問題として幅広くとらえておいてもらいたい。

- (野並委員)

- 防災＝(災害・被災を)防ぐという段階と、次の段階となる、被災した状況の中で暮らすという体験をする取組、数日間学校の体育館や教室で大人数と一緒に過ごすという体験学習も、もう少し進めて、トイレのことなど、「ない」ことを想定した、子どもたちの記憶に残るような体験も実施してもらいたい。

- ⇒ (教育政策課)

- 主要施策③の中の「地域と連携した防災教育の推進」として、「防災キャンプ推進事業」で、2泊3日で学校に寝泊りし、非常食による食事、暗闇

の中での避難訓練などを実施し、実践的な体験学習を行っています。今後緊迫した状況等も想定するなど、ご意見を参考にさせていただきます。

<基本方針9：基礎学力の定着と学力の向上について>

(西森委員)

主要施策⑤「人的支援の充実」という表現では、中身を見ないとイメージがわきにくい。「ニーズ」という言葉を効果的に使うことができないか。

⇒ (教育政策課)

「組織的に機能する学校づくり」と「特色ある教育や子ども一人ひとりの特性やニーズに応じた教育の充実・支援」から派生したものである「人的支援」ですが、「人的支援」という言葉だけでは、ニュアンスが他と違うということもありますので、見直しを検討したいと思います。

<基本方針4：長期欠席・不登校への対応の充実について>

(森田委員)

主要施策③「家庭への支援の充実」は、主要施策②「教育支援センターの充実」とも連携する必要があるのではないかと思う。「家庭への支援の充実」の内容を教えていただきたい。

⇒ (教育政策課)

「SSW（スクールソーシャルワーカー）活用事業」では、教育委員会でスクールソーシャルワーカーを配置し、教育研究所の長欠・不登校の担当とも連携して対応しています。そのことをこの部分に表すというご意見として承ります。

(森田委員)

高知県では、統計上、ひとり親家庭や生活保護受給世帯の割合が12%を超えていて、全国平均8%と比べてかなり高い。厳しい家庭環境に置かれている子どもたちは進学率も非常に低いので、子どもたちが経済的理由で夢を諦めることのないよう、経済的支援も必要。

<基本方針5：人権・平和教育の推進について>

(森田委員)

人権の中には、男女共同参画というものも組み入れていく必要があるのではないか。人権尊重の中で、いろいろな属性での子どもたちの平等を保障するという観点から、男女共同参画のことも是非加えていただきたい。

⇒ (教育政策課)

ここでは具体的に示していませんが、学校の中では、男女共同参画も含め、課題に対する学習を行っています。

<基本方針13：校種間の円滑な接続及び一貫教育の推進について>

(西森委員)

主要施策②に「小中一貫教育の推進」とあるが、今後一貫教育の実施校を

増やしていく、というイメージ。推進という言葉のとらえ方だが、とても強いスローガンのように思えるので、この言葉でいいのか。

⇒ (教育政策課)

小・中学校の今後の在り方に関する報告書の、特色ある教育の取組や小中一貫教育を意識した体制づくりなどの内容を受けて、「小中一貫教育の推進」としています。「推進」ということを意識して、という思いがありますが、文言については検討させていただきます。

<基本方針11：地域における教育力の充実について>

(森田委員)

主要施策②の中の「地域行事への子どもたちの参加」について、中学生が地域行事に参加するということは、生活の主体者意識を高め、地域の一員となるきっかけとして非常に重要なことであり、本当に必要なことだと思う。

ただ、地域の組織自体がなく、地域の活動が停滞している、例えば町内会が運営できない、機能していないという地域では、地域行事への参加自体どのようにしているのだろうか。

⇒ (教育政策課)

現状、学校では、特に土曜日を利用した、敬老会や夏祭りへの参加、或いは、生徒会が中心となって、地域の高齢者のお宅を訪問するなど、学校から主体的に動くなどしています。地域の組織がないからできないという状況ではないと思います。

(教育次長)

うまくいっている事例では、学校が、ある程度働きかけ、枠組みをすることで、逆に地域の組織が動き出すという、互いにとってプラスがあるという状況が生まれています。そのままでは、地域の力、教育力、組織力とも弱まっていくので、学校が仕掛けることで、それに呼応して地域が動き、更に、また学校が、という相乗効果を生むこと、両者にとってプラスになることを模索するというのが一番だと思います。

<その他のことについて>

(岡崎市長)

小・中学校の今後の在り方に関する報告書で、学校規模適正化の考え方を打ち出したところだが、実際の学校運営に直接関わる問題なので、このことに少し触れておいた方がよいのではないかと。

⇒ (横田教育長)

校区の見直しは、やはり課題になっている。一つの小学校から別々の中学校へ進学しているという状況があり、できれば見直したい。それを進めていく中では、一定校区の見直しも入ってくるので、事務局案を固めるよう作業も進めている。

小学校で270名、中学校で210名、学年で2クラス以上あることを適正

規模として見直しを検討しているのので、そうしたところを加味した整理を考えてみたらよいかも。

(西森委員)

新図書館について、この基本計画は学校教育に関するものだが、学校と無関係ではないと思う。基本計画に書き込むことはないのか。書き込まず、高知市文化振興ビジョンなど別にあるので、あくまでそちらの範疇とするのか。

(横田教育長)

基本計画の最初の議論の段階では、新図書館のサービス計画がまだできていなかったが、現在大体まとまってきたので、織り込むことができるものは、また少し検討したらいいかもしれない。

⇒ (教育政策課)

新図書館、みらい科学館と連携した学校教育ということで必要だと思っています。みらい科学館の出前授業などの中には理科教育の振興を図るということも含まれており、できるだけ内容にも反映させるような形をとれたらと思います。

<基本方針14：安全教育の推進について>

(西森委員)

主要施策②「通学路の安全対策」が挙げられているのは、保護者の立場からも非常に嬉しいが、通学路は、責任の範囲が難しい、道路は誰の管理かという話になる、と聞いたことがある。学校、保護者、道路管理者、警察、自治会とあって、教育委員会が来ているが、具体的にはどういうことになるのか。

⇒ (教育環境支援課)

高知市通学路交通安全プログラムに応じて、学校から通学路の危険箇所を報告していただき、学校管理職、教育委員会、警察、道路管理者は、県道の場合は県担当職員、市道の場合は市担当職員と、それぞれの責任者・管理者が合同で点検し、対策を講じるということを実施しています。ハード面での対応が難しい箇所などは、ソフト面での対応として、交通安全を徹底する等の対応をしていくようになります。

<基本方針10：学校の組織力及び教職員の資質・能力の向上について>

(森田委員)

主要施策②「教職員研修の充実」について、教職員研修は勿論大事なことだが、教員は今非常に忙しい。教員が本分に専念できるような仕事のしくみづくり・体制づくりも大事だと思う。

<基本方針7：体力の向上と食育の推進について>

(野並委員)

「体力」に関する主要施策の取組の中に、検証改善サイクルを確立するという文言があるが、次の4年間で検証すると受け取れる。もっと具体的に、次の4年間で確実にこれに取り組むというものはないのか。次の4年間の計

画の中で検証だけというのはいかがでしょうか。

⇒ (教育次長)

項目別には、持久走・シャトルランのところに課題があるのは明白で、これは、体力という部分と同時に、一つのことを継続してやっていく、或いは体力づくりなど、違う要素が入っているというところに明確な課題があるのではないかと思います。項目それぞれは、学校の中でのちょっとした取組で改善するようなどころがかなりあります。例えば、ジャックナイフストレッチを毎日行うことで柔軟性が上がってくるなど。また、環境づくりとして、例えば、反復横とびのラインを引いておいて、いつでもできる状態にしておく、子どもたちは自分でやるようになる、そのような取組を、各学校でこの4月から進めているところです。日常的に学校現場が意識できるような研修会の実施など、ご指摘のとおり、検討ではなく、現状取り組んでいます。やるべきことは明確になっていますので、基本計画にも盛り込み、確実に進めていきたいと思えます。

○ まとめ

本日いただいたご意見については、教育委員会事務局で調整の上、高知市教育振興基本計画策定委員会に諮り、基本計画に反映させることについて協議していただくこととする。

○ 閉会